

「住吉小学校の正名ヤッコ伝承活動の取組」

1 学校名

知名町立住吉小学校

2 学年・人数

全校児童（計55人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年6月25日（木）2校時 全校体育（体育館）

令和2年9月12日（土）3校時 全校体育（体育館）

令和2年9月16日（水）2校時 全校体育（校庭）

令和2年9月24日（木）2校時 全校体育（校庭）

(2) 発表の日時・場所

令和2年9月27日（日）地域合同大運動会（校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

正名ヤッコ（まさなやっこ）

(2) 由来

今から約400年前から沖永良部全体で踊られていた，最もポピュラーな踊りがヤッコ踊りであった。平成4年に，知名町の無形民俗文化財に指定され，平成26年に鹿児島県無形民俗文化財に指定された踊りである。

(3) 構成等

正名ヤッコは，畦し越（あぶしぐい）天ぬ群り星（ていぬぶりぶし）久高マンジユ主（くだかまんじゆしゅ）の3曲で構成され，集落では，老若男女がお祝いの席で勇壮かつ軽快に踊られていた。

5 保存会や地域との連携の具体

従来は，学校の教育活動として伝承活動を位置付けてきたが，授業時数の削減により練習時間を授業の中で位置付けることが困難になってきた。そのため，近年では，正名ヤッコ保存会が中心となって伝承活動を行い，学校の教育活動としては，運動会直前に体育学習として隊形確認を行うのみだった。

そこで，数年前から学校が中心となり，正名ヤッコ保存会の全面的な支援の下，「正名ヤッコを踊る会」を発足させ，住吉校区全体の郷土芸能として位置付けた。これにより，全校児童を中心に校区ぐるみでヤッコを伝承していく体制が整った。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながらヤッコ踊りを伝承していくために，学校に「正名ヤッコを踊る会」を発足させている。これにより，会員でもある全校児童を中心に地域ぐるみでヤッコ踊りを伝承していく体制が整った。

また，「地域の郷土芸能は地域で守り育てていく」という自覚を促すねらいから，正名子ども会が中心となって伝承していく体制を維持するようにし

た。さらに、正名ヤッコ保存会と連携して郷土芸能の継承活動を積極的に進めていく。

7 取組の様子（地域合同大運動会）



8 参加児童・保護者・保存会の感想・意見

【2年生児童】

1年生のときに、そのときの6年生から、教えてもらった踊り方を覚えていたので、今年も間違えずに踊ることができた。また、今年も卒業生も全校児童と一緒に踊ってくれたので、みんなで楽しく踊れた。

【4年生児童】

1年生のときは、踊りを覚えられずあまり楽しくなかったけど、今年も4年目になるので、スムーズに踊ることができた。また、正名ヤッコは、動きが激しい分、楽しく踊ることができた。

【6年生児童】

6年間ではじめて正装をして踊ることができ気分がよかった。小学校生活のよい思い出になった。また、中学生が飛び入りで踊ってくれたが、中学生の踊りは、僕らより切れがあった。中学生のような踊りを僕もできるようになりたいと思った。

【保護者】

運動会では、1年生から6年生までよく声を出して元気よく踊っていた。このよさは、なかなか大人には出せない児童ならではの踊りだと思う。今回、運動会そのものが、新型コロナウイルスの影響でどうなるか心配だったが、児童たちの正名ヤッコを見て、私たち保護者も元気をもらい、運動会が開催できたことに感謝したい。

【保存会】

正名ヤッコは約6分間の3曲構成で踊り続けている。大人の私でも真面目に踊れば、1回で筋肉痛になり、2回踊ることはできないほどの激しさである。正名ヤッコ保存会は、今後とも活動を続け、正名字に住む児童ばかりでなく、住吉小学校の運動会の定番「正名ヤッコ」にすることで、児童たちにしっかりと覚えてもらい継承していきたいと考えている。